

ポータブルモニター付除細動器 LIFEPAK 6

奥 村 福 一 郎*

LIFEPAK 6 は心電図モジュールと除細動器モジュールの2つから構成され、これらは交流電源にて独立して個々に使用でき、AC-DC ユニットではおのおのそのモジュールにバッテリーが内蔵されているため携帯用としても使用できる。

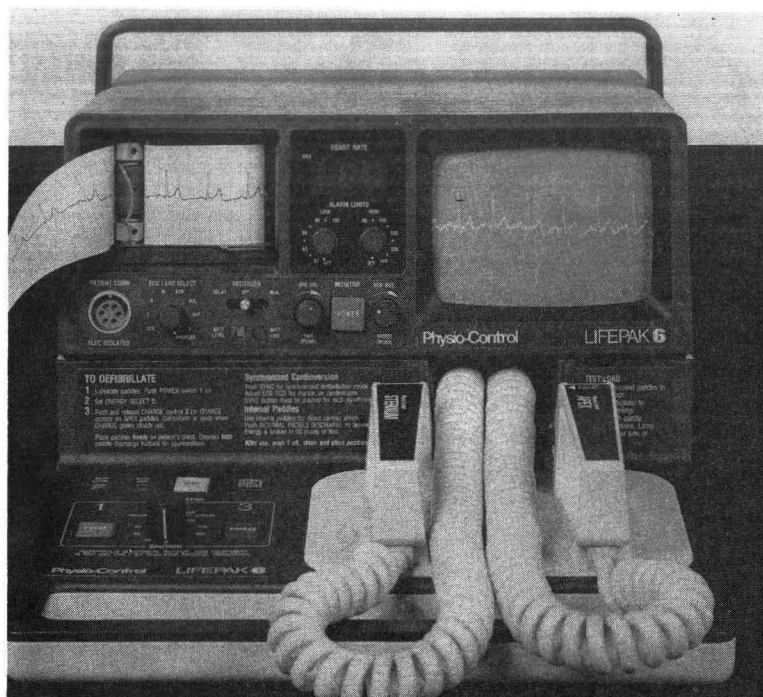
心電図モジュールはカルジオスコープとレコーダーから成る。カルジオスコープは1誘導ずつではあるが12誘導の ECG が可能で、R波同期による音のモニターや ECG 凍結機能も備えている。記録計は熱ペン式で delay と real の二つのモードをもち、real mode は周波数特性が優れているため、負荷心電図などの診断用に用いられる。前面には QRS indicator、心拍数表示アラーム装置があり、後面には心電図 output 端子があって 1 mV と 1 V の選択ができる。電池により連続4時間の心電図モニターが可能でバッテリーレベルメーターにより充電状態を知ることができる。

除細動モジュールは5~400ジュールの9段階の通電

エネルギーの選択が可能で、充電時間は400ジュールで約10秒である。R波同期装置を備え、パドル又は内部電極にて除細動ができる。ECG セレクターをパドルの位置にするとパドルによる ECG モニターが可能である。

使用上の長所として、ECG モジュールと除細動モジュールを独立して使用できる点やバッテリー内蔵のため術中モニターのあと患者輸送時に連続して使用できる点、術中安定した ECG が得られること、除細動時パドルの手元で充電が可能で連続除細動に便利な点、放電テストができる点などが挙げられる。欠点としてバッテリー内蔵のため、重いこと、また高価である点などがある。

以上のごとく1台で ECG 診断、モニターおよび除細動の機能をもち、比較的小型で移動に便利なため、1台で多くの手術室、病室をカバーできるのでこれらの部署には備えておきたい器械の一つである。



* 国立循環器病センター麻酔科